

令和8年度 事業計画書

社会福祉法人 齊 慎 会
特別養護老人ホーム西之島の郷

西之島の郷 概要

施 設 の 名 称	特別養護老人ホーム西之島の郷
所 在 地	〒438-0041 静岡県磐田市西之島 26 番地 1
設 置 認 可 日	平成 20 年 3 月 12 日
事 業 の 種 類	

1	事 業 所 名	特別養護老人ホーム 西之島の郷
	介護保険事業種別	指定介護老人福祉施設
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	80 名
2	事 業 所 名	短期入所施設 西之島の郷
	介護保険事業種別	指定（介護予防）短期入所生活介護
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	20 名
3	事 業 所 名	西之島の郷 居宅介護支援事業所
	介護保険事業種別	指定居宅介護支援
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	—

令和 8 年度 運営方針

一 基本方針

物価高騰による食材費・消耗品費・人件費の費用増大や取引業者の委託費の改定も発生することとなり、人材面においては多職種において慢性的な人材不足が続いており、厳しい環境下での施設運営となっています。施設も開設して 19 年目を迎え、全館空調システムのアロエースの更新を実施するなど、施設設備修繕の必須箇所も出始めているため計画的な修繕計画が求められます。一方、介護保険制度については、令和 8 年度介護報酬改定において令和 9 年度を待たずに期中改定を実施することとなり、「強い経済」を実現する総合経済対策」として、介護分野の職員の処遇改善と事業者の生産性向上の促進等のため改定率+2.03%が見込まれ、これにより介護職員については最大月 1.9 万円（定期昇給込み）の賃上げが実現可能となる見込みです。また上記の改定には、これまで処遇改善加算の対象外だった事業も対象となるほか、度重なる物価高騰による食材費の値上げを考慮して、食事の基準費用額についても 1 日当たり 100 円の引き上げが見込まれています。

今後も上記のような流動的な社会情勢を踏まえながら健全な施設運営を心掛けて、お客様には安全・安心した生活環境を提供し、職員の職場環境を充実させていけるよう取り組んで参ります。

今年度の重点施策としては、第一に、お客様および働く職員にとって、ともに安心感・満足感を感じられるよう職場環境の充実を目指して参ります。前述した令和 8 年度の介護報酬改定のプラスの期中改定を見据え、職員の更なる処遇改善を図るとともに、介護リフトや ICT 機器等、職場環境改善に資する福祉機器について今後も積極的に導入を進め、職員が安心感・満足感を持って働けるような職場環境の充実を図ります。また、必須となっている施設設備については順次更新を検討し、今後の施設設備・大規模修繕計画の道筋を策定します。さらに、人材不足に対する対応としては、個別面談やメンタルヘルス研修の実施等により職員の抱える課題や不安の早期発見と解消に取り組むとともに、外国人技能実習生の更なる受入れ体制の充実を図ることで介護職員

の人材不足に備えて参ります。

第二に、昨年度に引き続き生産性向上を施設全体のテーマとして捉え、多方面・多角的にアプローチを推進して参ります。施設内において、設備の ICT 化、デジタル化を進めることで DX 化をさらに推進し、生産性の向上を図ります。また、生産性向上推進体制については委員会運営を活性化し、今後も特養事業部と短期入所事業部で相互に生産性向上をスローガンとして掲げ施設運営に取り組みます。将来的には生産性向上推進体制加算Ⅰの取得を見据えた委員会活動、機器の導入なども検討して参ります。さらに、職場環境の見える化（可視化）を見据えて「自分たちの職場を自分達で作る」意識のもと、介護サーベイツールを活用したより良い職場環境の構築を目指します。加えて、広い視野を持つ職員を増やしていくために、外部研修への積極的参加や地域との連携強化により、情報のアンテナを高くし開かれた施設を目指して参ります。

二 重点施策

＜1＞お客様および働く職員にとって、ともに安心感・満足感を感じられるよう職場環境の充実を目指します。

- ・令和8年度介護報酬改定のプラスの期中改定を見据え、職員の更なる処遇改善を図ります。
- ・介護リフトや ICT 機器等、職場環境改善に資する福祉機器について今後も積極的に導入を検討します。
- ・必須となっている施設設備を順次更新し、今後の施設設備・大規模修繕計画の道筋を策定します。
- ・外国人技能実習生の更なる受入れ体制の充実を図り、介護職員の人材不足に備えます。
- ・面談やメンタルヘルス研修の実施等により、職員の抱える課題や不安の解消に取り組みます。

＜2＞生産性向上を施設全体のテーマとして捉え、多方面・多角的にアプローチを推進して参ります。

- ・施設内における設備の ICT 化、デジタル化を進めることで DX 化をさらに推進し、生産性の向上を図ります。
- ・生産性向上推進体制については委員会運営を活性化し、今後も特養事業部と短期入所事業部で相互に生産性向上をスローガンとして掲げて運営に取り組みます。
- ・将来的に生産性向上推進体制加算Ⅰの取得を見据えた委員会活動、機器の導入なども検討して参ります。
- ・「自分たちの職場を自分達で作る」意識のもと、介護サーベイツールを活用したより良い職場環境の構築を図ります。
- ・外部研修への積極的参加や地域との連携強化により、情報のアンテナを高くし開かれた施設を目指して参ります。

部署別重点目標

一 特別養護老人ホーム

＜1＞介護部

1. 接基本ケアにおける原点回帰と接遇力の向上に努めます。
 - ①お客様と接する際は丁寧語を使用し、失礼のない優しい言葉かけを心がけます。
 - ②アンガーマネジメントを習得し、実践的な技術と知識を習得します。
 - ③お客様の情報集約と情報共有に努め、ケアプラン・24時間シートを基本に個別ケアを実践します。
 - ④整理、整頓、清掃、清潔、接遇の5Sを推進します。
 - ⑤挨拶、表情、身だしなみ、態度、言葉遣いを意識し社会人としての節度ある対応に努めます。
2. 生産性の向上に取り組み、業務の効率化とサービスの質的向上、職員の業務負担軽減を目指します。
 - ①生産性向上委員会での特養におけるPDCAサイクルを実践します。
 - ②安全面における事故防止活動を安全業務改善委員会が中心となって取り組みます。
 - ③介護機器関連の導入とメンテナンス、効果測定を実施します。
 - ④各種加算関連の取得推進に努め、生活支援のフィードバックに繋がっていきます。
 - ⑤コスト意識を持って金銭的・時間的コストを把握し、固定費の削減と業務の効率化を図ります。
3. 介護人材の育成に努めます。
 - ①新規学卒・新任職員の入職に伴い、OJT育成システムを活用し育成に努めます。
 - ②介護技能実習生の教育システム作りと育成指導を基に業務改善を行います。
 - ③介護技能実習生2期生の受け入れ体制の整備を遂行します。
 - ④Web配信を活用した計画的な内部研修の開催と外部研修への参加を促進します。

＜2＞看護部

1. 新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等感染症を持ち込まない・拡げない対策を継続し集団感染を防ぎます。
2. お客様の体調不良の早期発見と適正な処置対応を行うことで、施設での生活を維持できるよう努めます。
3. 看護職員の「プライマリーナーシング方式」を確立することで、お客様の入居から退居までを担当看護師が行い、ニーズの充足や尊厳のある生活を支援して参ります。
4. 看護の後方支援の役割を理解し、多職種との連携強化を図ります。
5. 入居から看取り期までの褥瘡対策の強化を図ります。また、乾燥性皮膚炎は褥瘡のリスクを高めるため全てのお客様に保湿を行います。

＜3＞生活相談部・介護支援専門員

1. 入所稼働率の向上・安定
 - ①すずかけヘルスケアホスピタルや豊田えいせい病院を中心に病院の相談員と連携を取り、待機者の増加を図ります。
 - ②申し込み時は、声掛けから入所までの期間が短いことを強調し、待機者面談を早期に実施することで、西之島の郷への指向性を高めます。
 - ③お客様の入院時の情報収集を速やかに行い、円滑な退院に向けた支援を図ります。

- ④空床については、10 日以内の入所を目標とすることで空床期間の圧縮を図ります。
- ⑤希望されない入院や医療を避けるために、担当学会議（特に初回）においてリビングウイルの確認をしっかりと行い、本人が参加できるような担当学会議運営を目指します。

2. ケアの質の向上・LIFE の有効活用

- ①LIFE の加算算定に必要なデータについて、適切に入力管理・提出を行うことで適正な加算管理に努めます。
- ②フィードバックデータの活用について、フロアリーダー・看護・管理栄養士と連携の強化を図ります。さらに、ユニットでのケース検討にフィードバックデータが活用できるよう、活用の流れを整理・検討します。
- ③DBD や ADL などの入力について評価が一定になるよう、情報をしっかり伝達します。

3. 地域とのつながり・社会福祉施設の役割強化

- ①フロアリーダー等と連携しボランティアの受入・展開の更なる強化を図ります。
- ②地域の中での特別養護老人ホームの役割を再認識し、活動を検討します。

<4> 栄養管理部

1. 栄養ケアマネジメントの取組み

- ①お客様の重度化が進み、安定した栄養摂取が難しい状況が増加しているため、一律の食事提供にとらわれず、身体状況や生活リズムに応じた柔軟な食事提供方法を検討・実施します。
- ②「食を楽しむ」を大切にしながらも、栄養確保や安全性をより重視した支援を行い、状態変化に応じた適切な栄養管理に努めます。
- ③看取り期や褥瘡管理等においては多職種と連携し、より適切な栄養管理を実施します。今年度は更に多職種の協力を得ながら、現実的で継続できる栄養管理の検討実施に努めます。

2. 安定した食事提供体制の確保と BCP 対応

- ①食材費の高騰、配送方法の変更、取引業者の撤退など、食事提供環境にも大きな変化がみられるため、業者の選定や使用食材の見直し、提供内容の工夫を継続的にを行い、安定した食事提供維持に努めます。
- ②栄養献立ソフトオンライン化への変更や栄養価算定基準の見直しに対応し、適切な献立作成を行います。
- ③BCP 対応として備蓄食の確保および非常時の食事マニュアルの整備・周知を行い、災害時においても継続した食事提供が行える体制を整えます。

3. 安心・安全で「食を楽しむ」環境づくり

- ①調理における感染対策を徹底し、安心・安全な食事提供環境の維持に努めます。
- ②季節感のある食事提供や、前年度より実施している多職種参加の喫茶イベント等を定期的開催します。
- ③お客様の状態に配慮しながら、「食を通した楽しみ」の提供を継続します。

<5> 事務部

- 1. 事務部の新体制移行にともない個人個人が役割と責任を理解した適正な運営管理に努めます。

2. 介護業界の DX 化の波に乗り遅れることのないよう、アナログからデジタルへの移行を意識した事務の業務体制を構築していきます。
3. 施設の最初の受付相談窓口として「笑顔」を絶やさず「気持ちの良い接客」を心掛けます。

ニ ショートステイ

1. 生産性を向上させることにより、職員の心身の負担軽減と健康の保持、職場環境の充実化を図ります。職員の声に耳を傾け、『個々の自主性、主体性を発揮することができる職場』を目指していきます。
2. 感染防止対策を継続することで、安心・安全な事業所の利用環境を構築し、稼働率の維持・向上・事業所閉鎖等の事態を未然に防ぎます。業務において一行動一消毒を徹底することで感染の伝播防止に努めます。

◇令和 8 年度ショートステイ職員目標◇

令和時代に即した発想、やるべきこと、やる必要がないことの整理を行い働き方への変容を意識した事業所運営を行っていきます。

また、生産性を更に向上させることで、利用者・家族にとって利用しやすく、職員にとって働きやすい事業所となるよう前進していきます。

三 居宅介護支援事業所

1. 新体制における居宅介護事業所の運営体制を早期に確立します。
居宅介護支援事業所の管理者交代に伴い、適正なケアマネジャーの人員配置を整え、特定事業所加算算定を継続していくための事業所運営体制の構築を図ります。
2. 既に導入済みの厚労省が推進する「ケアプランデータ連携システム」の進捗情報の周知に努め、将来的には居宅介護事業所の DX 化を目指します。
3. 介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業に居宅介護支援が追加されたことを踏まえ、支給要件等について遵守し適正な事業所運営に努めます。

行事等計画

一 特別養護老人ホーム

<1>全体行事

月	主な行事等	防災訓練
4 月	お花見	
5 月		通報訓練
6 月	春の健康診断、職員健康診断	消火訓練（消火器）
7 月	七夕	防災教育（防災全般）
8 月	納涼祭	2F 模擬避難訓練
9 月	敬老会	3F 模擬避難訓練
10 月	地域秋祭り、夜勤職員健康診断	防災・災害 BCP 訓練オリエンテーション

11 月		防災・災害 BCP 訓練 一般防災訓練（夜間想定）
12 月	クリスマス会	防災教育（新任職員）
1 月	新年会	消火訓練（消火栓）
2 月	節分	防災教育（避難所役割等）
3 月		

<2>定期レク・セラピー・クラブ活動等

名称	開催時期・頻度	備考
音楽療法	毎週月曜日	
読み聞かせボランティア	毎月 1 回開催	
スイーツクラブ	年数回開催	
バー喫茶「こころ」	年数回開催	
屋台イベント（ラーメン etc）	年数回開催	
生け花クラブ	随時	
図書クラブ	随時	
居酒屋クラブ（west island）	随時	
駄菓子出張販売（駄菓子やっこ様）	不定期開催	
移動訪問販売（縁処：茶屋様）	不定期開催	
床屋	毎月第 2、4 月曜日	

<3>その他行事

名称	参加者	開催時期・頻度	備考
遠足&お食事会等	ご入居者・ご家族	年 1 回	ユニット単位
ドライブ	希望者	随時	初詣・お花見など季節に応じて
買物ツアー	希望者	随時	ご入居者の希望に応じて
誕生日会	ご入居者	毎月 1 回	ユニット単位
おやつ作り	希望者	随時	ユニット単位
ふれあい動物活動	希望者	年 1 回	地域交流室にて開催します

上記の他、歌や踊り、銭太鼓などのボランティアによる催事や地元幼稚園児さんとのふれあい交流会の企画を検討しています。

二 ショートステイ

月	名称	備考
4 月	お花見	桜の綺麗な場所へお花見にご案内します。
5 月	春のお茶会	『新茶』をテーマにしたお茶会を開催します。
6 月	遠足	希望者が全員参加できるよう複数回実施します。
7 月	納涼祭	施設全体行事と一緒にご案内します。
8 月	花火大会	打ち上げ花火と利用者様には手持ち花火をご用意します。
9 月	敬老会	施設全体行事と一緒にご案内します。
10 月	地域秋祭り	地域の祭典で屋台の引き廻しをご覧いただきます。
11 月	秋のお茶会	『秋』をテーマにしたおやつ作りとお茶会を開催します。
12 月	お餅つき	施設全体行事と一緒にご案内します。

1 月	新年会	利用者様が一緒に楽しんでもいただけるような新年の催しを開催します。
2 月	喫茶カフェテラス	同上

名称	開催時期・頻度	備考
健康王国	随時	通信カラオケ体操プログラムによる体操レクです
個別外出支援	ご利用者希望	ご利用者の希望に応じて対応いたします

研修計画

【研修区分】

名称	主な内容	時期	対象者
新任職員研修	新任職員対象の基礎研修	毎月第 2 木曜日	1 年目職員
UL スキルアップ研修	テーマ別研修 1	毎月第 3 木曜日	ユニットリーダー
施設サービス向上研修	テーマ別研修 2	毎月第 4 木曜日	1 年以上職員
フォローアップ研修	OJT 担当、2 年次、3 年次職員の育成研修	6, 9, 11 月の第 1 木曜日	OJT 担当、2・3 年次職員
非常勤職員研修	非常勤職員の育成研修	5, 12 月の第 4 木曜日	非常勤職員
外部研修報告会	研修内容の報告会	随時	全職員
フォローアップ研修 ネット配信	法定研修、専門研修、テーマ別研修、他	毎月 2 つの研修を動画視聴	全職員、職位別、他

新任職員研修

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
新任職員研修①	職場概要の理解他	4 月 1, 2 日	新任職員	法人担当者
新任職員導入研修②	実務基礎研修他	4/3, 6, 7	新任職員	FL 他
新任職員研修③	身体拘束廃止・虐待の防止	5 月 14 日	1 年目職員	成田
新任職員研修④	感染症・食中毒の防止	6 月 11 日	1 年目職員	大石・松島
新任職員研修⑤	介護事故の防止	7 月 9 日	1 年目職員	甲賀
新任職員研修⑥	褥瘡の発生防止	8 月 13 日	1 年目職員	石塚
新任職員研修⑦	看取り介護	9 月 10 日	1 年目職員	伊澤
新任職員研修⑧	認知症ケア	10 月 8 日	1 年目職員	松島
新任職員研修⑨	個人情報保護	11 月 12 日	1 年目職員	伊澤
新任職員研修⑩	防災対応	12 月 10 日	1 年目職員	成田
新任職員研修⑪	苦情・要望対応	1 月 14 日	1 年目職員	甲賀
新任職員研修⑫	腰痛予防と労働安全衛生	2 月 10 日	1 年目職員	伊藤
新任職員研修⑬	振返りとフォローアップ	3 月 11 日	1 年目職員	成田

UL スキルアップ研修：テーマ別研修 1

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
施設サービス向上研修	事業計画、目標管理、BCP 全般	4/16	UL	成田, 松島, 甲賀
リスクマネジメント研修	ヒヤリハット分析、事例検討	5/21	UL	安全業務改善委員会
虐待防止研修	アンガーマネジメント研修①	6/18	UL	ケア向上委員会
虐待防止研修	アンガーマネジメント研修②	7/16	UL	ケア向上委員会

納涼祭のため未実施				
看取り介護研修	施設における看取り介護	9/17	U L	松島
メンタルサポート研修	職員のメンタルサポート研修	10/15	U L	成田
感染症対策研修	感染症の知識および対応、演習	11/19	U L	(株)OKU, 松島
BCP 訓練研修	災害・感染症 BCP の机上訓練	12/17	U L	成田, 松島, 甲賀
褥瘡発生防止研修	褥瘡知識の医療的ケア研修	1/21	U L	石塚
身体拘束廃止研修	権利擁護と身体拘束廃止	2/18	U L	ケア向上委員会
年度末報告会研修	各部署年度末の総括、情報共有	3/18	U L	各部署長, UL

施設サービス向上研修：テーマ別研修 2

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
施設サービス向上研修	事業計画、目標管理等、BCP 全般	4/9, 16, 23	1 年以上	成田, 松島, 甲賀
リスクマネジメント研修	ヒヤリハット分析、事例検討	5/28	1 年以上	安全業務改善委員会
虐待防止研修	アンガーマネジメント研修①	6/25	1 年以上	ケア向上委員会
虐待防止研修	アンガーマネジメント研修②	7/16	1 年以上	ケア向上委員会
看取り介護研修	施設における看取り介護	8/27	1 年以上	松島
メンタルサポート研修	職員のメンタルサポート研修	9/24	1 年以上	成田
褥瘡発生防止研修	褥瘡知識の医療的ケア研修	10/22	1 年以上	石塚
感染症対策研修	感染症の知識および対応、演習	11/19	1 年以上	(株)OKU, 松島
BCP 訓練研修	災害・感染症 BCP の机上訓練	12/24	1 年以上	成田, 松島, 甲賀
BCP 訓練研修	災害・感染症 BCP の机上訓練	1/28	1 年以上	成田, 松島, 甲賀
身体拘束廃止研修	権利擁護と身体拘束廃止	2/25	1 年以上	ケア向上委員会
身体拘束廃止研修	権利擁護と身体拘束廃止	3/25	1 年以上	ケア向上委員会

口腔衛生研修①	口腔ケアについて①	8 月	全職員	やまなか歯科院長
口腔衛生研修②	口腔ケアについて②	2 月	全職員	やまなか歯科院長

フォローアップ研修

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
3 年次職員研修	3 年次職員フォローアップ 研修	6/4	3 年次職員	甲賀
OJT 担当職員研修	OJT 担当職員の育成研修	9/3	OJT 担当職員	伊澤
2 年次職員研修	2 年次職員フォローアップ 研修	11/5	2 年次職員	甲賀

非常勤職員研修

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
非常勤職員研修①	事業計画、目標管理等、BCP 全般	5/28	非常勤職員	成田, 松島, 甲賀
非常勤職員研修②	虐待防止、アンガーマネジメント研修	11/26	非常勤職員	ケア向上委員会

フォローアップ研修ネット配信

研修 No	名称	内容	時期	時間
j85	高齢者への精神的ケア	高齢者の「こころ」を理解したケア	4 月	全職員
s137	プライバシー保護	～守秘義務と個人情報とは違う～	5 月	全職員

s100	法令遵守の理解	コンプライアンスの解釈等	6 月	全職員
s47	身体拘束排除の知識	身体拘束のもたらす弊害等	7 月	全職員
s140	高齢者虐待防止	～他人は自分の思い通りにならない～	8 月	全職員
s145	非常災害時対応	～備えあれば憂いなしという日本古来からの言葉～	9 月	全職員
j88	医療につなぐために必要な医療	【体調不良のサイン編】	10 月	全職員
j87	知識	【バイタル編】	10 月	全職員
s146	感染症の予防	～慣れたらおしまいという言葉のとおり～	11 月	全職員
s141	リスクマネジメント危機管理	～ヒヤリハット≠インシデント～	12 月	全職員
s166-1	事故防止・緊急時対応	事故防止の知識と緊急時対応理解	1 月	全職員
s142	認知症	～認知症は病名ではない～	2 月	全職員
s148	ターミナルケアと看取りケア	～医療も福祉も大切にしているの もは同じ～	3 月	全職員

会議・委員会計画

定例会議

名称	時期・頻度	主な内容	出席者
職員会議	毎月第 2 木曜日	施設運営、全体課題の協議等	各部署代表, FL
介護部会議	毎月第 3 木曜日	介護業務に関する事等	各部署代表, FL, UL
特養・相談部連絡会議	毎月第 2 木曜日	特養 FL と相談部の情報共有	FL, 相談部
フロアー会議	毎月第 3 木曜日	介護業務に関する事等	FL, UL
栄養ケアマネジメント会議	毎月第 3 木曜日	給食・栄養に関する事	各部署代表, FL, UL
ショート運営会議	毎月第 2 木曜日	SS 運営に関する事等	施設長, FL, 相談員
看護部会議	1 回/月	看護業務に関する事等	看護職員
ユニット会議	1 回/月	ご入居者の処遇・個別ケア	ユニット職員
優先入所検討会議	4 回/年、他随時	優先入所名簿の作成、確認	各部署代表他

委員会活動

名称	時期・頻度	主な内容	出席者
事故防止・安全衛生対策委員会	4・7・10・1 月	事故防止と労働安全衛生に関する事	各部署代表
感染・褥瘡予防対策委員会	5・8・11・2 月	感染症と褥瘡防止に関する事	各部署代表
身体拘束廃止・虐待防止委員会	6・9・12・3 月	身体拘束廃止と虐待防止に関する事	各部署代表
生産性向上委員会	6・9・12・3 月	施設運営の生産性向上に関する事	各部署代表、委員
設備管理委員会	随時	施設内の設備維持・管理に関する事	各部署代表、UL
ユニットケア推進委員会	随時	ユニットケア運営に関わる事	各部署代表
ケアプラン委員会	随時	ケアプラン業務に関する事	担当職員
接遇向上委員会	随時	接遇等サービス向上に関する事	担当職員
安全・業務改善委員会	偶数月	安全対策、業務改善および運営に関する事	担当職員
リネン・環境整備委員会	奇数月	施設内外の環境整備、省エネと介護用品の管理	担当職員
ケア向上委員会	偶数月	職員の資質向上、教育・研修に関する事	担当職員
レク行事委員会	奇数月	レク行事全般に関する提案、運営に関する事	担当職員

